

# ホームページ開設手順

---

## WWW サーバへの接続

---

- (1) お手持ちの FTP コマンド(ソフト)を利用して WWW サーバにログインします。接続に必要な WWW サーバ名、ユーザ名、パスワードは別紙「CODA ホスティングサービス設定完了のお知らせ」の接続先ホスト名、FTP 用アカウント、FTP 用パスワードに記載されています。
- (2) FTP コマンド(ソフト)でログインされたディレクトリ内に「web」というディレクトリがあります。この「web」ディレクトリがお客様がコンテンツ(HTML ファイル等)を置かれるディレクトリとなります。このディレクトリに置かれるトップページ(お客様のホームページとして最初に表示されるコンテンツ)のファイル名は、必ず index.html (または、index.htm)としてください。このことにより別紙「CODA ホスティングサービス設定完了のお知らせ」の URL でアクセスすることができるようになります。

また、FTP ソフトによってはログイン後、ディレクトリおよびファイル名が表示されない場合があります。その場合は、FTP ソフトの設定を行う際に「ホストの初期ディレクトリ(フォルダ)」を「web」と記入してログインしてください。ログインされたディレクトリがお客様がコンテンツ(HTML ファイル等)を置かれるディレクトリとなります。

## ファイルの転送

---

FTP ソフトの具体的な設定方法、ファイルの転送方法等は別紙「各種アプリケーション設定の手引き」をご覧ください。なお、サーバ名、ユーザ名、パスワード、コンテンツを置かれるディレクトリに関しては、上記 WWW サーバへの接続 に記載されているものをご利用ください。

# ホームページ開設手順

---

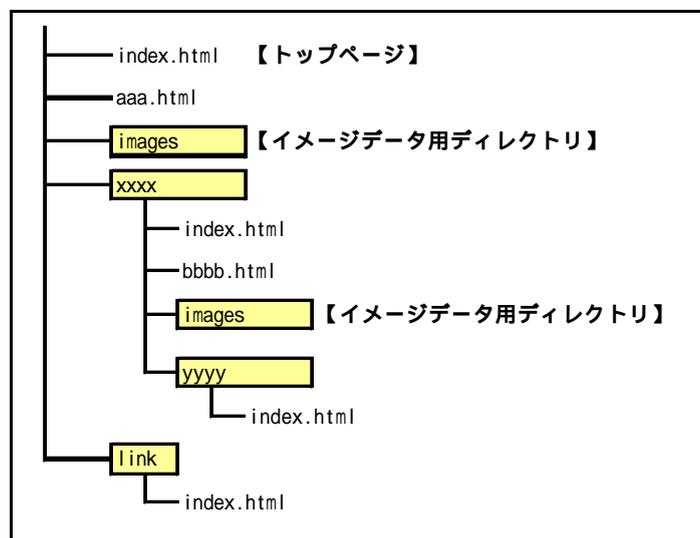
## ディレクトリ構成について

---

ホームページの運用管理において、最も重要なことの一つとしてコンテンツの置き場所を把握しておくことが挙げられます。あちこちにコンテンツファイルを置いてしまった場合、更新の際コンテンツファイルの置き場所を探すのに手間取ったり、誤って違うファイルに上書きしてしまったりなどのトラブルが起きやすくなってしまいます。また、HTML ファイルのリンクやイメージの貼り付けの記述に関しても間違いが多くなりがちです。

ここでは運用管理の参考としてディレクトリ構成の例を記載します。

ディレクトリ構成例



## 注意事項

---

- (1) CODA ネットワークセンターの WWW サーバにおいては、ファイル名やディレクトリ名で大文字・小文字を区別しますので、ご注意ください。例えば、index.html と INDEX.HTML は別ファイルとして扱われます。ファイル名や HTML ファイル内での他ファイルへのリンクの際には、出来る限り小文字に統一される事をお勧めします。
- (2) ファイル名やディレクトリ名には、漢字やスペースは使用できません。英数字、 - (ハイフン)、\_(アンダーバー)を使用するようにしてください。
- (3) コンテンツを置かれる際には、第三者が書き込めない様にファイルの属性(アクセス権)を設定してください。ファイルの属性の確認・変更は FTP ソフトでおこないます。